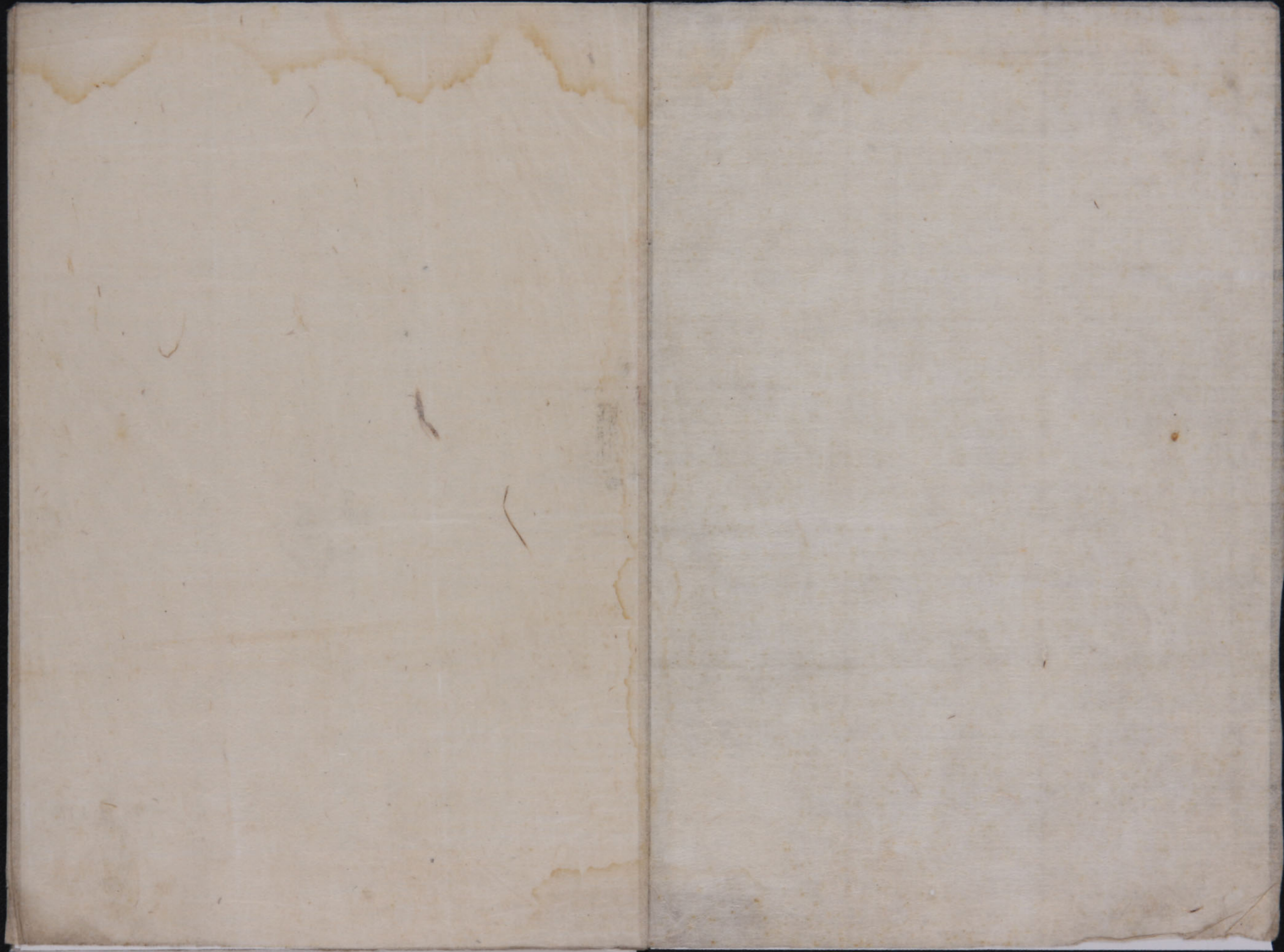


懷紙寸法清書

皇大
911.107
K2
0

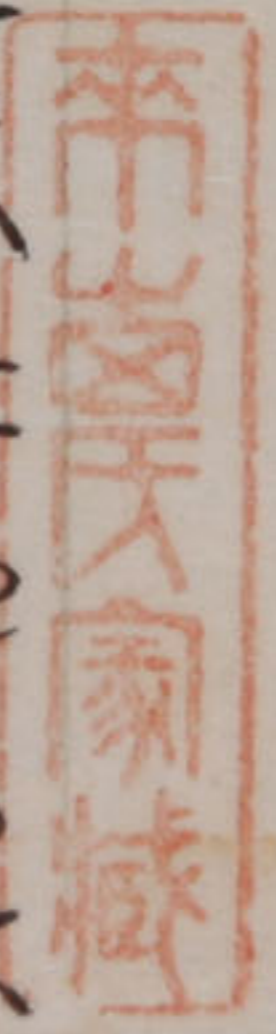


60787

911107

Ka

懷紙寸法并清書し事



大臣大納言中納言冬茂等ハ一尺二寸也此ハ
略清書の体也也大言壇紙を法して用之

殿上人ハ四位又位六位ホハ一尺二寸用之但内々
清書ハ主上、皇以下も常中の小言壇紙を法
用也上三指もひきき用之ハ勾指也下二指とて
多きハ有る候あり

我家の又位六位たとい四尺あり
檀紙を二尺用之を三法也法侍ホハ又一尺四分
在二用之内又二分三分ハ依人依事二用之
於法中も人々小言官上下より陸准后傳西



あといふ公令大臣以下に准るうありといつて出家し
に辨ハ御ひきて用はるうに辨也

清書事

一そハ三行三字 上下曰く 二そ三管又そ十そ
またハ二行七字たぐ一十又そより一十そ
ハ二行也又そ七そハ二牧繕し十そハ二牧
三牧繕し十そよりハ紙敷さし十そより寸
一そ二そハ紙を懐紙の奥ありの海に紙をへ
二そハ紙をひしとつめて書也但一そより書種ハ
可重を繕より七もろくハおく在二印辨
片よりしそハ常のそそをさし寸

瑞作事

貴取の令又ハ季日官姓名字をかくなり
等輩又ハ季日姓在ハ不ニ書又季日在ハつけごと
そ取主人あとの日氏人ハ季日在ハつて氏在
く寸官と名字ハく也こ建一の在字也

春日同詠初春祝和歌

左中将藤原

三行三字

以下曰く

法中傍中の難者 弓方清を瑞作書者

寸法中ハ前大傷西一ノ橙傷西一ノ法下一ノ
傷^{大小字二入}一ノ傷中ハ釋一ノ一或ハたノ二字斗書之
あり俗ノ入道ハ少凍一ノ一此

二ノ亦ハ五折也

詠二首和哥

山花

二行七字

君意

曰前

或又

詠山花和哥

二行七字

君意

他多分ハ詠二首和哥と一書ニ其内亦三ハ此
七一書也

不授威照院月庭和尙也

明應五年九月日

宋世意

自明應永年享保十七子凡二百廿七年之
壬子年九月十三日未字子速水序者

右三卷速水先生以本書寫之者也

寛延三庚午年八月九日

藤原親岑家藏



宣和三年九月廿九日
宣和三年九月廿九日
宣和三年九月廿九日

宣和三年九月廿九日

宣和三年九月廿九日

